

肯定的な回答が90%以上の項目（昨年度より2項目多い8項目）

項目	R4 肯定的回答	参考資料 (R3)
学園だより、学年だより、ホームページ等の情報	92.0	94.2
電話をかけた時や学園を訪問した際の教職員の対応	97.4	95.8
児童・生徒が学校のきまりや約束を守って生活	91.5	89.5
児童・生徒の気持ちよいあいさつ・身だしなみ	90.5	89.2
児童・生徒の行事への意欲	99.1	97.5
安全に対する指導	95.2	94.5
落ち着いた学習環境	95.0	94.2
安全・栄養・食育を考えた給食の提供	96.5	95.1

肯定的な回答が80%未満の項目（昨年度と同様6項目）

項目	R4 肯定的回答	R4 分からないと回答
授業の工夫、分かりやすい授業（少人数指導含）	78.7	18.2
英語を使った活動	70.5	12.6
いじめ防止の取組	65.1	28.9
不登校に対する取組	42.1	52.9
異学年交流、小中連携	73.1	14.1
道徳の授業の充実	68.5	27.5

考察**○学園だより、学年だより等で情報を伝えることができました。**

「学園だより、学年だより、ホームページなどの情報で学校の様子がよく分かる」の回答が92.0%でした。昨年度から「がくぷり」の導入でペーパーレス化を図り、保護者は「がくぷり」やホームページで学園だより等を確認し、学校の様子を把握することができたと思われま。

○行事に対する子供たちの意欲的な取組が高評価でした。

今年度も新型コロナウイルス感染防止のため、全体が集まる学校行事は行うことができませんでした。が、工夫して実施しました。行事（中学校：白丘の乱、白祭 小学校：秋スポ、音楽会等）に児童・生徒は意欲的に取り組むことができました。保護者の方には学年・学級限定公開や一部動画視聴していただき、子どもたちの様子など意欲的に取り組む姿を伝えることができたと考えます。

○授業等の様子を伝える取組はこれからの課題です。

学園だより、学年だより、ホームページやTwitterなどで情報を伝えることができた一方、感染防止のため授業等を参観する機会が少なく、通常の授業を見てもうることがあまりできませんでした。「英語を使った活動」への肯定的回答70.5%、「道徳の授業の充実」への回答68.5%は、そのことも影響していると考えられます。学校関係者評価後に道徳授業地区公開講座で道徳の授業をオンラインで視聴していただきました。今後も分散参観、オンライン視聴、ホームページのブログ、twitterなど感染状況に応じて発信できるよう工夫してまいります。

○いじめ防止や不登校に対する取組について、お伝えしていきます。

「いじめ防止に向けた取組が行われている」65.1%、「不登校に対する取組が行われている」42.1%でした。当事者でないと取組が分からないことによる結果と思われまますが、防止に向けて毎月学校生活アンケートの実施や教育相談の充実を図るほか、道徳の授業等で取り上げたりしています。昨年度より「いじめ防止対策通信」を発行し、昨年度より若干評価が上がりましたが「分からない」と回答した方も多かったことから、改めてこれらの取組をお伝えする方法を考えていきます。

○一貫校としての連携強化に努めます。

今年度も感染防止のため、異学年や小中学校の交流を控えざるを得ない状況でしたが、子供たちは互いの行事を動画で視聴、作品を見学するなどして、その感想等をカードに記して渡すなどの間接的交流を工夫しています。また、中学校の行事に小学生が一部参加するなど、コロナ禍でもできる交流を模索し実施しています。今後も小中連携の強化、取組の充実が必要であると考えます。